

1 研究主題

自ら進路選択のできる生徒の育成をめざす進路指導
—進路選択に役立つ進路学習を通して—

2 はじめに

生徒の進路をめぐる環境や意識は大きく変化している。中学校における進路指導もその変化に対応することが強く望まれている。「働くこと」「学ぶこと」は、中学校3年間における進路指導の大きなテーマである。現在の自己を見つめ、将来の自分を思い描いて努力することは、生き方指導面から重要な課題となっている。小牧市進路指導教育研究会では、「自ら進路選択のできる生徒の育成」をめざし、ここ数年間にわたり研究を続けている。

生徒個々の将来の夢が単に夢で終わらないように、より支援できる進路情報の提供のあり方を求めていきたいと考え、研究を継続していきたい。

3 研究経過

研究テーマに沿って、各部員の勤務校において実践・研究を進めた。また、研究主任を中心に小委員会を開催し、各校の実践などの情報交換を行った。

4 研究の概要

小牧市内各校で行われている進路行事や進路学習等の資料を持ち寄り、情報交換と協議を行った。進路説明会の持ち方に関する資料、1年間の進路の流れを見通すための資料など、主に進学に関する資料だけでなく、1年生から3年生までの進路学習の積み上げについての報告など、系統的な進路学習に関する報告もなされた。

また、A中学校では例年の職業人体験に代わり、電話でのインタビューを行った。生徒からは、「将来こんな仕事に就いてみたいので今後いっそう学校の勉強に励んでいきたい」という感想などがあつた。実際の体験ほどではないが、将来を考える一助となったことは間違いない。

5 実践を振り返って

各校の情報を共有することにより、今年度初めて進路指導主事を経験する教員だけでなく、進路指導主事を経験したことがある教員についても、今後の進路指導につなげていく貴重なヒントを得ることができた。

3年時に行う具体的な進学先名をもとにした進路指導だけでなく、系統的な学習を通して、将来よりよい進路選択ができるよう生徒の育成をしていきたい。